

●舞鶴市加佐公民館で第 10 回昆虫展開催される 7 月 15～17 日

丹後地方で長年昆虫の標本を収集してこられた松尾秀行さんと、お手伝いをしてこられた黒田悠三さん達が実行員会を作って、ここ 10 年来夏休み前に昆虫展を開催されて来ました。今年は節目の 10 回目となったので、故郷・日本・世界の昆虫展として開催されました。松尾さんの収集された標本 1000 箱から展示物を選び出すには黒田さんたちの協力を得て 1 月から 6 ヶ月かかったそうです。写真でお分かりになるように、加佐公民館の大ホール全体で展示発表されていました。12 箱×10 ブロック=びっしり 120 箱の展示となっていました。一箱平均 50 匹の標本がはいっているらしく、会場だけで 6000 匹の標本になります。その一つ一つを補虫して標本に仕上げていくことは想像を超える作業になってきます。松尾さんは 1000 箱の標本を作り上げておられるのですが、想像を超える作業をこなしてこられたことになります。このように苦勞を続けてこられた貴重な作品が京都府各地にあり、そしてこれらが忘れられて処分される運命にある。と、黒田さんはお話になっていました。



●第 1 回竹サインペン製作工程説明会 10 人の参加大成功 7 月 18 日

2022 年 2 月 7 日に竹嶋修二氏に竹サインペン製作を語ると手作りで完成させて頂いたのが始まりで、製作への工夫が始まりました。材料の確保やデザインの在り方など、そして丸形か角型かなど試行錯誤を繰り返し、7 月 6 日に角形に決着をつけて具体化が進み始めました。八方手を尽くしましたが、丸型に竹を生成できる道具が探し当たらず、四角に決定しました。それから半年竹割機の発想に行き着いたのが 23 年 2 月 20 日で、5 月 20 に木型が作り上げられて、竹割方法に目途がつき前途が明らかになりました。そして芯開け装置、6 月 9 日に鉛筆削りが見つかり、これで生産ルートが一応整うことになりました。そして 7 月 18 日製作工程の説明会の実行にこぎつけられました。参加していただいたのは 10 名でしたが、販売方法や利用方法、などには手が付けられませんが、製作にはこれなら作れるとの判断を、製造作業を行う中で感想を得ることができました。これまでの苦勞、苦心が報われました。そこでの感想を列举しておきます。

これくらいの作業は実行できる 慣れればコツがつかめる 道具の単純化が良い
素人でも作業が可能だ 道具の流れを順序良く並べること
各作業ブロックを担当すれば慣れと専門性が生かされる 鉛筆に消しゴムをつける改善を

売り出すタイミングが大切だ 竹の切断用の糸のこ作業が危険である
 ドリルの穴あけ寸法を検討してはどうか（短く）
 プラスチック対策なのだから、環境問題を考えて知恵を出す（デメリット・メリットを）
 紙サックに工夫を ワンセットで売り出しては 色 形 見本を楽しく作る
 記念品として注文を受ける 結婚記念品に使用 二人のネーム入り
 さんさんには作業場所がない

●強烈な暑さが続いています

7月の祇園祭を迎えての暑さはこの夏一番の暑さが続いています。高齢者にとってはつらい夏です。この時に魚とりや昆虫観察などの定番活動が続きます。子どもたちにとっては楽しい季節になりました。加えて里山の会では里山農園での火曜日・土曜日の作業、そして木津川堤防の希少植物の生育調査業務での除草作業などを繰り返し広げなければなりません。朝の涼しい間での作業時間を利用する時期もありましたが、近頃は真昼の最も高温時期の作業時間の設定とされています。必要な作業なのですがこういった時間帯の作業はなるべく避けるような工夫が必要ではないでしょうか。短時間の作業といっても少し工夫を凝らすべきではないでしょうか。

●府市協調で「きょうと生物多様性センター」設立記念シンポジウムが開催されます。ご参加ください。

9月2日にご講演をお願いしている湯本先生もお話をされます。

●里山の会会員募集！

里山の会では中心メンバースタッフが25年の歩みを進めてきましたが、多くの団体が直面しているように、高齢化が進み、どう継続してゆくかが大きな課題となっています。これまでずいぶん会員募集をお願いしてきましたが課題解決に至っておりません。発足以来「自然を大切にする仲間の輪を大きくする」活動を進めてきました。植物、昆虫、農園活動、講演会活動、展示会発表、会誌や週刊ニュース発行 ヤマトサンショウウオ観察保全など多岐にわたって活動を進めています。興味のある方のご参加を求めています。年間2000円の会費で100回近いイベントを展開しています。是非ご加入ください。

京都府、京都市

きょうと生物多様性センター
設立記念イベント

水族館やYouTubeなどで
生きものの魅力を発信している
方々の取組をご紹介します！

香りや味を楽しめる植物や
昆虫標本の出張展示も！

『京都の暮らしや文化と生物多様性の恵み』

いちもんじたなご
あぶらぜみ

令和5年7月21日(金)
午後1時～午後4時
京都府立京都学・歴史館
(オンライン配信あり)

基調講演
人類の進化や文化と生物多様性の関わり
～暮らしの豊かさを支えるものとは～
山極 寿一氏
きょうと生物多様性センター 名誉センター長 (総合地球環境学研究所長)

取組紹介・意見交換

湯本 貴和氏
きょうと生物多様性センター センター長 (京都大学名誉教授)
生きものの魅力を発信している皆さんから取組内容を紹介してもらいます！
生物多様性の課題や私たちに何ができるか、皆さんで考えましょう！

マーシー氏
YouTuber
YouTubeチャンネル「マーシーの腐ったり腐ったり」で生きものの魅力発信中！

山極 寿一氏
きょうと生物多様性センター 名誉センター長

河崎 誠記氏
京都水族館 飼育長・展示飼育チーム長
水族館のさまざまな取組や当館のいきものの魅力を紹介します！

吉武 諒人氏
令和5年度京都環境賞(大賞)受賞者・中学生
小学4年生から「生き物共存大作戦」をテーマに活動中！

会場へのアクセス
公共交通機関の積極的な利用をお願いします。
■京都市営地下鉄 北山駅から徒歩約4分
■京都市営バス 北山駅前から徒歩4分、府立大学前から徒歩6分

きょうと生物多様性センター

●木津川の砂の流れる音の収録に 林さん

竹門先生からの紹介で芸術家の林さんが流れる水の中で移動する砂の音を録音したいとのことで協力依頼をいただきました。さっそく7月19日午前11時に玉水浜が適当だろうということで、森島保様が手はずを整えていただきました。

●夏休みに入りまして 昆虫好きの子ども達にとっては待ちに待った夏休みです。今回の夜の生き物調べは、これまでも里山の会の昆虫などの取組のご指導をいただいていた前近畿大学教授の桜谷保之先生に来ていただくことになりました。今回は京都博物館実現のためには昆虫の採取標本化が大事な資料となるのでと力を入れていただいています。19日現在、大人13人、子ども19人の申し込みをいただいています。まだ少し余裕がありますのでこぞってご参加ください。

夜の昆虫観察会 参加者募集

7月22日 (土)

昆虫は生息場所が水中、水面、草むら、森、湿地と多岐で、動物界の過半数の種を占めています。それだけ昆虫は環境に適応し多様に進化したと言えるでしょう。明るさで言えば、昼間に活動するものもあれば 夜間に活動する昆虫もいます。なぜ夜に活動するのでしょうか。夜に活動するメリットは何でしょうか。

今回は、夜間、ライトトラップ（青色の光）に集まる昆虫を観察することになります。どんな昆虫がやってくるのか楽しみです。

みなさんの参加をお待ちしています

集合 17時00分

場所 里山農園 里山農園 普賢寺 水取菰谷 普賢寺小学校から南400m

指導 桜谷保之 元近畿大学教授 里山の会顧問

担当 金田隆（里山の会昆虫世話係） 野村治（里山の会理事）

服装 長袖 長ズボン 長靴 （運動靴ではなく長靴着用）

持ち物 お茶 夕食 ライト 網 ケース等

参加費 無料

参加申し込み HPから 事前の申し込み 住所 氏名 年齢学年 電話番号 15歳まで

雨天の場合 翌日になれば中止 少雨開催の方向

連絡先問い合わせ 0774-64-4183

プログラム

- 17:00 開会挨拶 諸注意 自己紹介
- 17:10 講師紹介 挨拶
- 17:20 農園周辺の観察開始 農園付近散策
- 19:30 ライトトラップ開始
- 20:15 まとめ 交流
- 20:30 解散

主催 特定非営利活動法人 NPO やましろ里山の会

住所 京田辺市田辺深田 15 電話 0774-64-4183 (f兼)

住所 京都府京都市田辺深田 15 0774-64-4183

●京田辺市「郷土史会」が写真で昭和を語る 写真の提供を呼び掛けています。

京田辺市の「郷土史会」から昭和の時代の写真提供が要請されました。なかなかの協力が難しく苦心されています。皆様の手元で懐かしい街の風景写真や取組の写真があればご協力をお願いします。連絡は里山の会事務所までお願いします。

●うれしいお知らせ

KBS 京都 ラジオに出演依頼あり 25日 朝7時15分

里山の会の活動紹介 農園ササユリ心の悩みを研ぎほぐす

●ひまわりの苗を分配しています。ご希望者は里山農園へお越しください。

昨年から里山農園で「ひまわりの苗」を分配してきました。今年はすごく成長がよく、蒔いた種が殆ど芽を出してくれましたので、かなりの皆さんにおすそ分けが可能になっています。この夏休みに大きくお育て下さい。毎週火曜日と土曜日の9:30~12:00は農園作業日になっていますのでお越しください。なお日曜日にもご連絡いただければ農園でお待ちいたします。連絡はメールで頂ければ有難いです。住所・氏名・電話番号・農園到着時間をお知らせください。Tel. 0774-64-4183、mail アドレス fddb257@yahoo.co.jp までお願いいたします。

今、ロシアのウクライナへの軍事侵攻があり、世界の各地の集りなどでひまわりの花（ウクライナを代表する花）束や花を身に着ける人々が多くなっているそうです。花言葉は「未来を見つめて」だそうです。

